

<添付資料>

【主なロケ地及び撮影にご協力いただいたみなさん】

(1) 春編

■ 高遠城址公園

「日本三大桜名所」でもあり、「さくら名所 100 選」にも選ばれている高遠城址公園の桜。園内の桜は小ぶりで赤みのあるタカトオコヒガンザクラ。明治 8 年に旧高遠藩士が桜の馬場から移植をはじめて以来、人々の手によって植え継がれ、現在は約 1,500 本にもなりました。ボランティアガイドや地元中学生のおもてなしにより、多くのお客様をお迎えしています。

例年見頃は 4 月中旬。もうすぐ桜色に染まる伊那谷は圧巻です！

(伊那市観光協会「高遠さくら祭り 2016」情報

<http://takato-inacity.jp/h28/archives/category/blom> )

■ 伊那市通り町商店街

伊那市は「人口に対する居酒屋の数が日本一多いまち」といわれており、風情ある個人店の居酒屋が多い。郷土食や伊那の名物「ローメン」(蒸し麺にマトンやキャベツなどの具を炒めたもので、ソースや酢、にんにくなどで客が味付けするという珍しい逸品)などが提供され、家庭的な味を楽しめます。通り町界限を中心に、伊那市では飲み屋に困ることはありません。また、昼間の通り町も、「イーナ・ムービーズ 春編」にあるように、どこか懐かしい雰囲気のある通りで、伊那谷フィルムコミッションなどを通して、日本テレビ系列バラエティ番組「ザ！鉄腕！DASH！！」、フジテレビ系列ドラマ「ゴーイング マイ ホーム」などでも登場。最近では映画「俳優 亀岡拓次」で、通り町入舟アーケード、映画館「伊那旭座」、地下通路などもロケ地として登場しています！

■ 竜南子育て支援センター

保育園や幼稚園に入園する前の幼児とその保護者が利用できる子育て支援センターは伊那市内に 4 つ。いずれも全国的に珍しい保育士が常駐している体制で、親子が安心・安全で集うことができる場で、子育て相談も気軽にできます。センターは、広いリズム室や、庭、プール付きの場所もあり、それぞれセンターごと楽しめます。また、読み聞かせや助産師による育児相談、ふれあいリトミックやミニシアター・人形劇、ユカイナ・ウクレレ演奏など、幅広い分野の講座が開かれています。

■ 長谷小学校運動会

## ■羽広獅子舞保存会

## ■仲仙寺

本尊には十一面観音がまつられ、馬の観音様として遠く木曾からも信仰を集め、現在も沢山の馬が描かれた「絵馬」が奉納されています。

## ■熱田神社

随所に見られる見事な彫刻から「伊那日光」と呼ばれています。

## ■伊那市創造館

## ■伊那旭座

市内にある昔ながらの映画館。アーティストのPVや映画の撮影なども行われます。このたび、伊那谷フィルムコミッションがロケ支援しました映画「俳優 亀岡拓次」が伊那旭座で上映されます。また、伊那旭座での公開にあわせ、本作品の横浜聡子監督が来場し、舞台あいさつを行います。

伊那旭座公開(長野県公開)：2016年2月27日(土)

舞台挨拶：12時15分から

第1回上映：12時30分から

## (2) 夏編

## ■南アルプス

南北100kmの間に3,000メートル級の13座がそびえる日本一の山脈、南アルプス。ここは、大地が大きく動いたあとを見ることができる日本最大の断層中央構造線の露頭のほか、遠い昔に海にいたアンモナイトの化石が発見できるなど、地球の成り立ちや、大地の成り立ちなどを知ることができます。南アルプスは大地の公園としての価値が認められ、2008年12月に日本ジオパークに認定されています。

また、南アルプスには、ライチョウやヤマトイワナ、シナノコザクラなど、貴重な特有の動植物が生息。その多様な生き物や自然環境を守り、暮らしの中に役立ててきたことが世界的に認められ、2014年6月、ユネスコエコパークに登録されました。

そんな世界的にも認められている場所が伊那市にあります！

南アルプスを含め里山や森などの森林は、伊那市の面積のうち82%も占め

ています。この森林を 50 年先の未来に引き継ぐために伊那市では 50 年の森林策定ビジョンの策定をすすめています。地域産材を活用した木のおもちゃを市内の新生児にプレゼントしたり、保育園や小学校で木に親しむ木育を行ったり、間伐材などを活用したペレットや薪ストーブの普及など、木をテーマにした包括的な独自の取り組みも行っていきます。

#### ■伊那中学校

#### ■千代田湖

千代田湖キャンプ場は標高 1,300 メートルにある、自然に囲まれたキャンプ場で、湖と、周囲を囲む木々が避暑地としても最適。なにより湖畔の景色が最高です！

#### ■入笠湿原

入笠山は登山口(御所平峠)から山頂近くまでおよそ 30 分というアクセスで、女性や子どもも気軽に楽しめる山。山頂には 360 度の大パノラマが広がり、晴れた日には富士山や南アルプス、八ヶ岳も望めます。6 月にはスズランの群生が楽しめるなど、入笠湿原は山野草の宝庫です。

#### ■さんよりこより

#### ■伊那まつり

毎年 8 月第 1 土日に行われる伊那市を代表するまつり。躍動あふれる市民おどりやおまつり広場のほか、クライマックスは伊那谷最大級の花火大会が行われ、澄んだ夜空に美しい花火が彩られます。2016 年は 8 月 6 日(土)、7 日(日)に行われます。

#### ■トンボの楽園

伊那市富県新山のトンボの楽園では、日本一小さいトンボ、ハッチョウトンボを間近で観察できます。ハッチョウトンボは、自然豊かな場所にしか生息しない貴重なトンボ。そんな場所が伊那市にはあります！

#### ■吉田 洋介さん

伊那市に移住後、雑穀レストラン『野のもの』を運営し、健康食品として注目されているアマランサスの雑穀料理などを推奨。

アマランサスは 2016 年に流行するスーパーフード第 1 位にも選ばれた、栄養化の高い健康食品ともいわれている雑穀。伊那市はそんな雑穀がたくさん生産されています。地元の高校生やレストランなど一緒になって開発した商品もあります！ミネラル豊富で体にいい有機栽培で育てた雑穀をつかった個性的な料理も注目です。

#### ■名取 将さん

伊那市に移住後、「TRAIL CUTTER」代表を務め、伊那市長谷地区を拠点に活躍する、マウンテンバイクガイド・トレイルビルダー。

#### ■浦野真吾さん

高遠焼陶工・高遠焼白山登窯 2 代目。(高遠焼

<http://www.takatouyaki.com/>)

高遠焼は江戸時代文化 9 年(1812 年)に高遠の月蔵山から高遠城に水を引くために、美濃国から陶工(とうこう)を招き、土管を焼いたのが、始まりといわれています。高遠焼の特徴は色合い。釉薬を二重がけすることで生まれます。

現在では、桜をイメージしたピンク色の釉薬ができ、これからの季節、桜満開の高遠城址公園で桜色の高遠焼を手にとっていただくことも人気です。

#### 【撮影の裏話】

##### ■地域のみなさんにもご出演いただきました！

子育て支援センターや伊那まつり、長谷小学校などの撮影では、普段の様子を映像に収めるため、特別演出をすることなく、撮影当日にその場いらっしやっただみなさんにお声掛けし、ご出演いただきました。

撮影にも快くご協力いただき、たくさんの心優しい笑顔を撮影することが出来ました！

##### ■実景撮影を担当する井上が山籠もり！

春編・夏編では、3,000m 級の山々から形成される南アルプスの雄大さが印象に残ります。四季折々の景観を映像に収めるため、実景カメラマンの井上が各編数日間山籠もりをして、素晴らしい景色を撮影することが出来ました。

画像：<http://i-namovies.jp/facility>

■ 未来のオリンピック選手も出演！

夏編で登場する、ハードル少女は、市内中学校の陸上部に所属し、県内の大会では大会新記録で優勝するなど、将来有望なアスリート。学校の協力により、軽トラックで並走し撮影をしましたが、あまりの速さに自動車の初速が追い付かず、「まるでオリンピックの様だ」とその速さと迫力に驚かされました。

■ 人物撮影を担当する小林を魅了した伊那の暮らしが育んだ食文化

伊那市には、「ローメン」やソースかつ丼、おやき、五平餅、さくら肉(馬肉)料理など、「郷土の味」が引き継がれています。

東京都出身の小林もその味にほれ込み、伊那市を訪れるたびに様々な「郷土の味」を口にし、「とにかくうまい！！」と興奮。ついには、伊那の3大珍味「蜂の子・ザザムシ・イナゴ」も制覇し、完全に小林は伊那市の虜に。

伊那市の食：

<http://inashi-kankoukyoukai.jp/cms2/archives/category/tabeyou>